

広報



# まつざき

2010  
(平成22年)

# 2

No. 549



1月10日(日) 成人式



# 第62回松崎町成人式

はたちの門出、84人が大人の仲間入り

1月10日(日)、第62回松崎町成人式が、環境センター文化ホールで開催されました。

今年、大人の仲間入りをした、松崎町の新成人、84人(男子43人、女子41人)のうち、67人が出席しました。

式は「式典」と「はたち祭」の二部構成で行われ、新成人たちは、多くの関係者に見守られながら、社会人としての第一歩を踏み出しました。



会場のあちこちで記念撮影



宣誓する関さんと佐藤さん

式典では、新成人を代表して、関翔馬さん(石部)と佐藤暁子さん(南郷)が、「成人としての自覚をもち、明るい未来を切り開いていかなければならない義務がある。」と力強く宣誓しました。

はたち祭では、昌空館空手道場の演舞やふるさとクイズ、伊豆松崎牛原太鼓の演奏が行われ、新成人の門出をお祝いしました。

新成人が生まれた20年前は、消費税が導入された年です。町内では、那賀バイパスが開通しました。



君が代伴奏、新成人高木さん(櫻田)



受付は中高生がお手伝い



ふるさとクイズに挑戦



伊豆松崎牛原太鼓の演奏



昌空館空手の演舞

# 防火・防災の誓い新たに

# 松崎町消防団

# 出初式

1月4日(月)、新春恒例の松崎町消防団出初式が環境センター文化ホールで行われ、消防団員206人が参加しました。

式典では、齋藤町長が「消防人としての高い誇りと、その職務の重要性を認識し、消防力の更なる向上に努めていただきたい。」と訓示を述べ、消防団員は、地域防災への誓いを新たにしました。



その他、永年にわたって消防防災活動に貢献している団員や家族、退団役員に対する表彰が行われました。

式典終了後には、役場前から、ラッパ隊を先頭に消防団員、消防車両19台による町内パレードや那賀川で一斉放水が行われました。

## 表彰

(抜粋・敬称略)

### 静岡県消防協会長表彰

#### 功労章(35年勤続功労章)

本部 団長 内田址延

#### 功績章(25年勤続功労章、

家族に対する感謝状)

本部 本部長 土屋宗三郎  
五―四 副分団長 佐藤清久

#### 特別功労章(20年勤続功労章)

本部 部長 高見武彦



#### 功労章(15年勤続功労章)

五―四 部長 石川光明  
六―一 副分団長 齋藤正則  
一―三 班長 佐藤輝彦  
三―二 班長 船津直樹  
三―三 班長 鈴木清文  
三―三 班長 吉長政彦  
四―二 部長 小林一彦  
五―二 団員 齋藤友貞  
五―三 副分団長 岩谷秀仁  
五―三 団員 山本雄一郎  
六―一 班長 齋藤誠  
六―三 班長 美澤一廣

#### 町長感謝状

前五分団長 稲葉文義

## 町の人事

### 副町長に松本忠久氏が選任

1月13日に開会された松崎町議会第1回臨時会にて、副町長の選任についての議案が提出され、賛成多数で松本忠久氏(61)が副町長に選任されました。



副町長に就任した松本氏



教育長に就任した藤池氏

### 新教育長に藤池清信氏が選任

12月28日に開催された教育委員会にて、藤池清信氏(68)が教育長に選任されました。

### 指出巖教育長が退職

1月7日付けで、任期満了により、指出教育長が退職しました。平成15年7月1日に教育長に就任し、このたび退職されるまでの6年6カ月間、小学校の統合や松崎中学校の耐震補強工事、中高一貫教育の推進などに尽力されました。

## 100歳のお祝い

### 松本くわうさん(建久寺)

(明治42年12月22日生)

12月22日、松本さんの自宅にて、齋藤町長が祝金と記念品を贈呈し、100歳の誕生日をお祝いしました。



子どもを安心して育てるために

# 安心子ども基金創設

## 基金創設の経緯

近年の経済情勢の悪化に伴い、これまで専業主婦（夫）であった人でも、家計のために仕事に出たいと希望する人が増えています。

このため、保育所への入所希望が殺到し、入所できずに待機しているお子さんの数は、平成20年4月には全国で1万9千550人、同年10月には4万184人と前年比約1割の増加となっています。

新聞やテレビのニュースなどで連日のように報道されていますが、特に都市部では、保育所の利用の申し込みが急増し、深刻な問題となっています。

このようなことから、国は、平成20年度第2次補正予算で、「子育て支援サービスの緊急整備」として1千億円を予算計上しました。

## 事業の概要

この事業は、子どもを安心して育てることができるような体制整備のため、各都道府県に子育て支援対策臨時特例交付金を交付し、各都道府県は基金を設置します。

この基金を財源として、平成22年度までに地域の実情に応じた取り組みを推進し、保育所の整備等による保育サービスの拡充のほか、近年希薄になっている地域の繋がりを復活させ、子どもを家庭だけでなく地域で一丸となって育てる体制づくりを支援していきます。



## 松崎町では

町では、平成21年度から22年度までに次の事業を実施する予定です。

### ○地域子育て創生事業

#### ・スポーツイベントの開催

今年度は、2月7日（日）に、総合グラウンドで、親子スポーツフェスティバルを開催します。

このイベントは、親子で楽しめる野球、テニス、サッカーなどのスポーツを通じ、家族の絆を深めることを目的としています。



また、平成22年度には、親子だけでなく、地域の人も参加していただき、地域における子育て力を育み、コミュニティの活性化を目的としたイベントを開催する予定です。

### ・空気清浄機の整備

インフルエンザ等の感染症対策として、町内各幼稚園、保育園、児童館に抗ウィルス性加湿機能付き空気清浄機を整備しました。



購入した空気清浄機

### ・各団体への補助

子ども家庭の経済的負担を軽減し、より多くの子どもたちが参加できるように、スポーツ少年団やボーイスカウトに備品購入費を補助します。

### ・研修事業

平成22年度事業として、学童保育等の充実を図り、働く子育て家庭を支援するために子育て支援ボランティア等の養成講座を開催します。

### ○社会的養護入所者環境改善事業

・新生児訪問用電動アシスト自転車の購入  
・新生児訪問用高精度体重計の購入



購入した高精度体重計

町では、今後も、子育て支援ボランティア等を育成し、放課後児童クラブや子育て支援センターの整備を進め、すべての家庭が安心して子育てを行えるような町づくりに努めていきます。

### 【問合せ】

健康福祉課（42） 3964

2011年7月24日にアナログ放送は終了します

# 「地デジ」のお知らせ

現在ご覧になっているアナログ放送は2011年7月24日に終了し、地上デジタル放送（以下「地デジ」）に完全移行します。地デジを受信するためには、デジタル放送対応の機器が必要です。早めに地デジの準備を始めませんか。

なお、地デジを楽しむための総務省による説明会（無料）を生涯学習センターで開催します。ぜひ参加してください。

## 地デジ化の目的

テレビ放送のデジタル化の大きな目的のひとつに電波の有効利用があります。

放送や通信に使用できる電波は無限ではなく、ある一定の周波数に限られます。

現在の日本では、使用できる周波数帯域はすき間のないほど過密に使われていますが、デジタル化によって余裕ができます。空いた周波数帯域を、防災、交通事故防止、携帯電話などのいろいろな分野で有効に利用して、ICT（情報通信技術）活用社会、高度情報化社会を推進します。

## 地デジを見るには

2011年7月24日に、テレビはアナログ放送からデジタル放送に完全移行します。

その時点で従来のアナログテレビを使っている人は、そのままでは、地デジを見るのができません。

地デジを見るためにはどうすればいいのか。次の方法を参考にしてください。

**○UHFアンテナで受信する**  
現在ご使用のアンテナがVHFアンテナの場合は、新たにUHFアンテナの取り付けが必要です。また、すでにUHFアンテナをご使用の場合

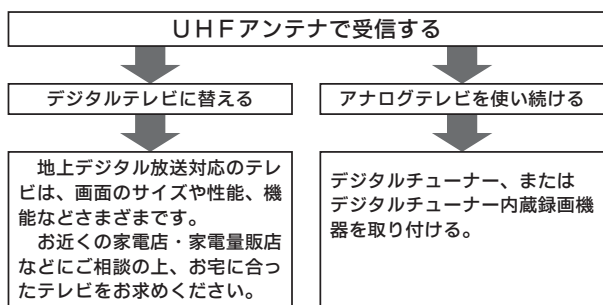
も追加・交換や調整（有料）が必要となる場合もあります。  
**○デジタルテレビに替える**

地デジ対応のテレビは、機能や性能、サイズ、価格などさまざまです。近くの電気店や家電量販店などでご相談ください。

**○現在のアナログテレビを使い続ける**

現在利用しているアナログテレビをアナログ放送終了後もそのまま使い続ける場合は「デジタルチューナー」または「デジタルチューナー内蔵録画機器」を買い足せばご覧になります。

## 地デジを見るにはどうするの？



## デジタル化でテレビは変わります

○ハイビジョンの高画質と高音質が楽しめます。

○データ放送でニュースや天気予報などの情報がいつでも見られます。

○字幕放送など、高齢者や障害のある方への優しいサービスが充実します。

○クイズやアンケートなどの双方向サービスが可能になります。

○電子番組ガイド（EPG）で、録画予約も簡単に行えます。

## 総務省による地デジ説明会を開催します

【日時】

- 3月3日 ①午後2時～ ②午後7時～
- 4日 ①午前10時30分～ ②午後2時～

【場所】

生涯学習センター4階

ふれあいホール

【内容】

- ・地上デジタル放送とは何か（アナログ放送との違い）
- ・アナログ放送終了までのス

ケジュール  
・デジタル放送の受信方法について など

## 個別訪問説明

高齢者（65歳以上）を対象に、申し込みのあった世帯に対して個別訪問し、地デジに対する説明を行います。

【内容】

地デジとは何か、メリット、スケジュール、受信方法、具体的にどんな準備が必要かなどを丁寧に説明します。

詳しくは、総務省より2月中旬以降、全戸配布される「地上デジタル放送のご案内」で確認してください。

## 悪質商法に注意

地デジへの移行が近づくにつれ、テレビ局職員や公的機関の名をかたり、アンテナ交換やテレビの地デジ対応に関連した不正請求をする悪質商法が増加しています。

身に覚えのない工事や代金請求には注意してください。

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

# 住宅用火災警報器を

## 設置しましょう

### 住宅火災の現状

住宅火災は、22時から翌朝6時までの就寝時間帯に多く発生しています。住宅火災による死者は、平成15年以降連続して、全国で1千人を超えています。

住宅火災により、死に至った原因として、気づくのが遅れたことによる「逃げ遅れ」が約7割を占めています。また、死亡者の約6割が65歳以上の高齢者となっており、年齢が高くなるに従って割合が著しく増加しています。この傾向は、高齢化の進展に伴い、今後さらに増加することが懸念されています。

### 住宅用火災警報器とその効果

住宅用火災警報器は、火災による煙や熱を感知し、警報するものです。

アメリカでは、設置義務化等による住宅用火災警報器の

普及に伴い、住宅火災による死者数が半減しています。日本でも、平成16年の消防法の改正により寝室や階段への住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。



住宅用火災警報器

### 町の補助制度

町では、高齢者世帯を対象に住宅用火災警報器の設置に係る費用を助成します。この機会に警報機を設置し、万が一の火災に備えましょう。  
※申請期限（3月31日まで）

がせまつておりますので早めに申請をお願いします。

#### 【対象世帯】

65歳以上の高齢者のみの世帯（平成20年4月1日現在で住民基本台帳の世帯員がすべて65歳以上の世帯）

#### 【対象期間】

平成22年3月31日まで

#### 【給付個数】

電池式のものを一世帯につき1個

#### 【申請方法】

すでに設置済の場合（町内の店で購入した物）

領収書等と通帳（キャッシュカードでも可）の写し、印鑑（認印で可）を持って窓口にて申請してください。

#### これから設置する場合

町内の事業所に設置を依頼又は購入し、申請書に領収書等と通帳（キャッシュカードでも可）の写しを添付し、窓口にて提出してください。

※申請はどなたでもかまいませんが、本人以外の場合は運転免許証等の身分証明書をお持ちください。

#### 【問合せ】

健康福祉課（42）3966

# 松崎文芸

— 短歌 —

白鷺の舞ひるるさまを見せたと  
ゆっくりゆっくり車椅子押す

平馬文枝

輝ける月を慕ひてゐるごとし  
夕顔の花の乙女さびてみゆ

中村宣子

鳳仙花の種のはじけるに好奇の目  
幼の世界に余念のあらず

山本しづ子

わが部屋の夫の遺影のほほゑみに  
笑って返す日ばかりはなし

端山きち枝

お早うと声かける今朝のお相手は  
一輪挿しの赤いガーベラ

飯野ふさ

頼み居し人ら皆老い十坪の畑も  
芝生も吾が仕事となる

坂倉のぶ

玄関の菜の花水仙青磁の器  
すがすがしさにしばし佇む

船津きく

## 確定申告会場のお知らせ

平成22年1月1日現在、松崎町に住んでいる人で、確定申告（所得税の申告）が必要な人は、3月15日までに申告してください。

#### 確定申告会場

【場所】道の駅・開国下田みなと（ベイ・ステージ下田）2階特別展示室

【期間】2月16日（火）～3月15日（月）

【時間】9：00～17：00

#### 確定申告相談会場

【場所】環境センター2階研修室

【期間】①2月25日（木）

※無料税務相談も行います。

②3月8日（月）

【時間】9：30～11：00

13：00～15：30

【問合せ】窓口税務課（42）3968

# ～ まちのできごと ～



## 1/2 乗り初め（雲見海岸）

航海の安全と豊漁などを祈願する新春恒例の乗り初めが行われました。もちなどがまかれ、強い西風の中、多くの行楽客で賑わいました。



## 1/中旬～ 冬の風物詩「川のり」採り最盛期

那賀川・岩科川河口で、川のり採りが最盛期を迎えました。干潮時には、多くの方が、川底の石についた川のりを手際よく採っていました。



## 1/14・15 ポンカン品評会

生産農家26人から30点のポンカンが出品されました。形や糖度など7項目について審査が行われ、松本久さん（門野）が金賞を受賞しました。



## 1/19 弓まつり（舟寄神社・江奈）

元禄時代から伝わる新春恒例の弓まつりが行われました。神事終了後には、町内外から弓愛好家約50人が集まり、射会が行われました。

## 「花とロマンの里」を地域ブランドに

私は、町長に就任し、「平成の花とロマンのふる里づくり」に全力投球する決意をしました。

具体的に、今まで推進してきた「花とロマンのふる里づくり」からどのように発展させていくのかを現在模索しているところです。

例えば、「花とロマンの里」をテーマにした特産品を開発し、地域ブランドにできないかと考えます。

今までの花いっばい運動は、花を見て町の人たちが心を和ませたり、花を誘客に活用したりしていました。

私は、那賀川沿い約6<sup>キ</sup>の桜並木やその下に咲いている菜の花から蜂蜜を採取し、「見て楽しむ」から一歩踏み出し、花を使った特産品ができないかと考えます。

現在、松崎町の各商店では、川のりや桜葉など地域の特産品を使った商

## 町長室からこんにちは ②



松崎町長  
齋藤 文彦

なことはありませんが、今後、地域の特産品を商品化している商店の方たちと協力し、地域ブランドの構築に取り組んでいきたいと考えます。

品の開発が活発に行われています。

地域ブランドを構築することができれば、産業が発展することにより、雇用が発生し、少子高齢化に歯止めをかけることができ、活気ある町づくりができます。県内では、富士宮市の焼きそばや浜松市の餃子など地域ブランドを構築し、成功している市町があります。地域ブランド構築は簡単なことではありませんが、

# 21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

## 町の人口と世帯

(平成21年12月31日現在)

( ) 内は前月比

総人口	8,103人	(+ 6人)
男	3,832人	(+ 2人)
女	4,271人	(+ 4人)
世帯数	3,158戸	(+ 6戸)
転入	29人	転出 16人
出生	2人	死亡 9人

## 町の交通事故

平成21年12月31日現在

( ) 内は前年同月比

人身事故	3件	(+ 3)
物損事故	8件	(- 2)
死者	0人	(± 0)
傷者	3人	(+ 3)

## おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
岩地	齋藤つくも	98	光子
道部	岡村美代子	79	岡三
東区	渡邊サチ子	77	純一
門野	山本至	83	行三
指川	佐藤トヨ	84	勝徳
八木山	加賀俊光	76	延明
松尾	渡邊初江	97	進
岩地	齋藤悦郎	88	斎藤久喜

## 戸籍だより (12月届出分)

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
中村	舞佳	女	石田光昭
伏倉	あや紋奈	女	小林真輝



※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

## 保健師だより

### ほんの少し減らして 脱メタボ!

特定健診の質問票の項目に「20歳の時の体重から10キログラム以上増加しているか」という問いがあることをご存知ですか?メタボ該当になる人はこの項目についてほとんどと言っているほど「はい」と答えています。

ほんの少しのエネルギー超過が積み重なって今があると考えられます。

たとえば、1日に飴玉1個を食べると超過エネルギーは30キロカロリーですが、毎日食べ続けると体重は、1年後に1・6キログラム、10年後には15・6キログラム増加します。毎晩テレビを見ながらポテトチップスを10〜15枚食べると、1年後には5・2キログラム体重が増えます。

長期にわたる日頃の生活習慣が体の変化と密接に関わっていることに気づけば、理想的な健康スタイルにぐっと近づきます。

まずは、目標を決めて自分なりのプランを立ててみましょう。あせらずこつこつ続けていけば結果は必ず出ます。最終的な目標は一時的な体重減少でなく、元気にいきいき暮らすことです。

## 地域交流通信

### 松崎町を訪問して

松本市安曇地区から  
12月19、20日の2日間の日程で安曇地区から松崎町へ訪問団19人で伺いました。

出発の前日から安曇地区では、雪が降り続き、12月近くは、雪が降り続きました。

『これから松崎町へ出かけようという時に』などと思いをながら、朝4時半から通学路を中心に除雪作業を行いました。が、私は、出発時間を考慮して早々に切り上げさせていただきました。

訪問団一行のバスの中でも今朝の大雪が話題となり、全員が松崎町の天候を心配していました。が、雲ひとつない富士山がくっきり見えると一挙に不安が和らぎました。

松崎町へ到着すると晴天でしたが、西風が強く、その影響で海はウサギが飛び跳ねるように白波が立っていました。2日目は、「光る泥だんご」づくり体験とポンカン狩り体験をしました。

光る泥だんごづくり体験は2年前にも体験させていただきましたが、この玉は静岡県知事に贈った際に『開運栄光球(エゴだま)』と命名されたという説明を受け、開運効果を期待して念入りに磨きをかきました。

また、甘酸っぱい香りが漂う農園では、はしごを使って採った色付きの良いポンカンとミカンを生産として持ち帰りました。

町長さんをはじめ役場の皆さんの配慮で、楽しい2日間を過ごすことができました。松崎町の皆さんも、機会がありましたらぜひ安曇へお越しください。(島々町会長 奥原 将弘)



ポンカン狩りを楽しむ訪問団